

第2章 実績報告

〔大分類〕 保健・医療

〔中分類〕 地域における医療環境の充実

■ 実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	1. 東京ベイ・浦安市川医療センター整備事業 (保健スポーツ部 保健医療課)			
事業計画概要	地域に必要な医療を確保するため、公益社団法人地域医療振興協会の新病院（平成24年度開業予定）建設に対し、市川市と浦安市が2分の1ずつ整備事業補助金を交付します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・建設工事	24年度 ・建設工事 ・既存建物の解体工事	25年度
	実績	・センター建設工事 ・地下埋設物等の撤去工事	・センター建設工事 ・既存建物の解体工事 ・地下埋設物等の撤去工事	
事業費(千円)	計画	1,265,000	1,308,644	
	実績	1,265,000	1,094,374	
数値目標等	計画	診療に供する東京ベイ・浦安市川医療センターの病床数(累計)		
	実績	48床	235床	344床
達成状況等	(事業費比較)	3カ年 実績額/計画額		
	(数値目標等比較)	最終年度 実績/計画		
	<p>東京ベイ・浦安市川医療センターの整備に関する補助金については、平成21年～平成24年を計画年度として、整備事業計画に基づき平成24年度の医療センター完成をもって、計画通り完了した。</p> <p>新病院の完成により救急搬送は、旧市民病院（平成20年度）と比較して、現在はおよそ2倍の受入を行っている。</p> <p>病床数についても、平成25年度中には計画通り344床の開設が予定されており、当該事業は十分達成されたものとする。</p> <p>【<input checked="" type="checkbox"/>十分達成した <input type="checkbox"/>概ね達成した <input type="checkbox"/>やや不十分だった <input type="checkbox"/>不十分だった】</p>			
市民意向調査結果	<p>期待以上 期待通り 足りない やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額

基本目標1

基本目標2

基本目標3

基本目標4

基本目標5

〔大分類〕 保健・医療
 〔中分類〕 健康づくりの推進

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	2. 妊婦乳児健康診査事業 (保健スポーツ部 保健センター 健康支援課)			
事業計画概要	疾病予防、健康管理の推進のため、妊婦乳児健康診査を実施します。健診により、妊婦及び乳児の疾病を早期に発見し、安心して出産、育児ができる環境整備を行います。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・母子手帳及び妊婦・乳児健康診査受診票の配布 ・妊婦健康診査、乳児健康診査の実施（医療機関に委託）	24年度 同左	25年度 同左
	実績	交布 母子手帳 4,850 妊婦健診 5,244 乳児健診 5,233 健診 妊婦 54,291 乳児 7,853	交付 母子手帳 4,825 妊婦健診 5,200 乳児健診 5,268 健診 妊婦 53,982 乳児 7,807	交付 母子手帳 5,600 妊婦健診 5,600 乳児健診 6,500 健診 妊婦 53,100 乳児 7,980
事業費(千円)	計画	457,368	457,368	457,368
	実績	431,850	430,974	438,775
数値目標等	計画	妊婦健康診査の受診者数(年間・延べ)		
		54,090人	54,090人	54,090人
	実績	54,291人	53,982人	53,100人
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	1,301,599千円/1,372,104千円=94.9%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	161,373人/162,270人×100=99点		
	妊娠届出数は22年度5,085件、23年度4,850件、平成24年度4,787件と年々減少している。 健診受診延べ件数を妊娠届出数で除した一人当たりの妊婦健康診査受診回数は、23年・24年度ともに11.3回となっている。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>4.4% 74.2% 16.9% 4.5%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 保健・医療
〔中分類〕 健康づくりの推進

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	3. 健康診査事業（保健スポーツ部 保健センター 疾病予防課）		
事業計画概要		疾病予防、健康管理の推進のため、健康診査、がん検診、肝炎検診を実施します。健（検）診によりがんや脳卒中、心臓病等の生活習慣病の早期発見、早期治療につなげ、受診者の健康意識を高めます。		
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
	実績	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査に準ずる健康診査 肝炎ウイルス検診 がん検診（胃がん検診、子宮がん検診、肺がん検診、乳がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診） 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査に準ずる健康診査 肝炎ウイルス検診 がん検診 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査に準ずる健康診査 肝炎ウイルス検診 がん検診
事業費（千円）	計画	1,122,309	1,165,838	1,186,785
	実績	1,190,850	1,207,817	1,229,826
数値目標等	計画	大腸がん検診の受診者数（年間・延べ）		
	実績	45,900人	47,200人	48,000人
達成状況等	（事業費比較） 3ヵ年 実績額／計画額	3,628,493千円／3,474,932千円＝104.4%		
	（数値目標等比較） 3ヵ年 実績／計画	150,923人／141,000人×100＝107点		
		財政的には、計画額どおりの実績となった。指標的にも計画で設定した数値を上回っていることから、事業計画を十分達成したと考える。数値目標等については、実人数としたが、今後、受診率と比較してどちらが適切か検討する必要がある。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]		
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 保健・医療
〔中分類〕 公衆衛生の推進

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)		4. 予防接種事業（保健スポーツ部 保健センター 疾病予防課）		
事業計画概要		感染症の予防を図るため、定期予防接種はもとより、任意予防接種である流行性耳下腺炎とともに、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの接種を無料で実施します。		
年度ごとの 事業内容	計画	23年度 (定期予防接種) ・ポリオ予防接種 ・三種混合 ・BCG ・麻しん風しん混合 ・日本脳炎 ・二種混合 ・高齢者インフルエンザ (任意予防接種) ・流行性耳下腺炎 ・ヒブワクチン ・小児用肺炎球菌 ・子宮頸がん	24年度 同左	25年度 同左
	実績	(定期予防接種) ・ポリオ予防接種(5,965人) ・三種混合 (18,073人) ・BCG (4,052人) ・麻しん風しん混合 (9,492人) ・日本脳炎 (22,822人) ・二種混合 (3,259人) ・高齢者インフルエンザ (44,711人) (任意予防接種) ・流行性耳下腺炎 (3,609人) ・ヒブワクチン (20,948人) ・小児用肺炎球菌 (24,607人) ・子宮頸がん (13,804人)	(定期予防接種) ・ポリオ予防接種(17,024人) ・三種混合 (13,932人) ・BCG (3,953人) ・麻しん風しん混合 (9,685人) ・日本脳炎 (19,357人) ・二種混合 (2,824人) ・高齢者インフルエンザ (45,288人) ・4種混合 (3,450人) (任意予防接種) ・流行性耳下腺炎 (6,995人) ・ヒブワクチン (17,737人) ・小児用肺炎球菌(18,378人) ・子宮頸がん (6,992人)	(定期予防接種) ・ポリオ予防接種 (3,000) ・三種混合 (3,000人) ・4種混合 (15,000人) ・BCG (4,200人) ・麻しん風しん混合 (8,100人) ・日本脳炎 (23,250人) ・二種混合 (3,400人) ・高齢者インフルエンザ (46,500人) ・ヒブワクチン (16,300人) ・小児用肺炎球菌 (16,500人) ・子宮頸がん (5,000人) (任意予防接種) ・流行性耳下腺炎 (3,710人)
	事業費(千円)	計画 1,586,675 実績 1,350,008	1,214,500 1,297,837	1,214,500 1,158,625
数値目標等	計画	小児用肺炎球菌の接種者数(年間・延べ)		
	実績	33,120人	19,552人	19,552人
		24,607人	18,378人	16,500人

達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	3,806,470千円/4,015,675千円=94.8%
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	59,485人/72,224人×100=82点
	発病予防、重症化予防、感染症のまん延予防の目的を達成したが、今後接種者の増加となるよう広報、ホームページを活用していく。 [□十分達成した ■概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]	
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り □足りない ■やり過ぎ</p>	

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 子育て

〔中分類〕 子どもの権利保障と配慮を要する子どもの支援

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	5. 児童虐待対策事業（こども部 子育て支援課）												
事業計画概要		児童虐待防止のため、子ども家庭総合支援センターにおいて、子育て家庭等からの相談や虐待通報などに対応します。また、相談員のほかに児童精神科嘱託医を配置し、迅速で効果的な支援を行います。												
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・関係機関との協力・連携 ・相談や支援の充実 ・相談体制の強化	24年度 同左	25年度 同左										
	実績	・嘱託医会議、要保護児童対策協議会を定期的に開催することにより、関係機関との連携強化、相談体制の強化に努めた	同左	同左										
事業費（千円）	計画	13,252	15,000	15,000										
	実績	11,427	11,358	8,933										
数値目標等	計画	児童虐待相談件数（年間・延べ） ※将来的には児童虐待自体が減少することで相談件数が減少することを目指していますが、実施計画期間では、相談体制の充実を図ることによる相談件数の増を見込みます												
		3,000件	3,000件	3,000件										
	実績	2,320件	3,191件	3,500件										
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	31,718千円／43,252千円＝73.3%												
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画	9,011件／9,000件×100＝100点												
<p>〔■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった〕</p> <table border="1"> <caption>市民意向調査結果</caption> <thead> <tr> <th>期待</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期待以上</td> <td>2.5%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>60.1%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>35.4%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>2.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>					期待	割合	期待以上	2.5%	期待通り	60.1%	足りない	35.4%	やり過ぎ	2.0%
期待	割合													
期待以上	2.5%													
期待通り	60.1%													
足りない	35.4%													
やり過ぎ	2.0%													

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 子育て
〔中分類〕 地域における子育て支援

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	6. 保育園整備計画事業（こども部 保育計画推進課）			
事業計画概要	待機児童解消のための保育サービスの充実を図るため、社会福祉法人等が国の交付金を受け、実施する施設整備事業に対して、その経費の一部を補助します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・信篤地区への創設 ・新井保育園の増改築 ・e-保育園の分園整備	24年度 ・保育園の創設 ・既存保育園の増改築 ・分園の整備	25年度 ・保育園の創設 ・分園の整備
	実績	・創設1園 キッド・ステイ原木中山保育園 ・増改築2園 新井保育園 百合台保育園	・創設1園 アスク行徳保育園 ・増改築1園 まきば保育園	・創設6園 (仮称)アスク本八幡保育園 (仮称)グローバルキッズ市川園 (仮称)小学館アカデミーいちかわ南保育園 (仮称)メリーポピンズ市川ルーム (仮称)こうぜん市川保育園 (仮称)ありのみ保育園
事業費(千円)	計画	358,141	345,000	220,000
	実績	598,862	234,616	621,631
数値目標等	計画	保育園の定員数(年度当初)		
	実績	5,782人	5,937人	6,077人
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	1,455,109千円/923,141千円=157.6%		
	(数値目標等比較) 増分した定員 実績/計画	693人/465人×100=149点		
22年度からの繰越額が発生したことや、増え続ける待機児童の解消のために当初の計画よりも創設園を増加したため、事業費の実績額は計画額を上回ったが、保育園の定員数は当初の目標を228人上回る事ができた。				
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額+繰越額

〔大分類〕 子育て
〔中分類〕 地域における子育て支援

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	7. 子ども医療費助成事業（こども部 こども福祉課）			
事業計画概要	子どもの健やかな成長と保護者に対する経済支援の充実を図るため、子どもの保険診療に係る患者負担額の一部を助成します。			
年度ごとの事業内容		23年度	24年度	25年度
	計画	中学校3年生までの子どもの保険診療にかかる患者負担額の一部を助成 (入院1日につき300円、通院1回につき300円の自己負担金有り 調剤は無料)	同左	同左
	実績	中学校3年生までの子どもの保険診療にかかる患者負担額の一部を助成	同左 (平成24年12月に中学校3年生まで現物給付を拡大)	同左
事業費(千円)	計画	972,724	972,724	972,724
	実績	1,054,958	1,150,840	1,198,709
数値目標等	計画	助成対象年齢		
		中学校3年生まで	中学校3年生まで	中学校3年生まで
	実績	中学校3年生まで	中学校3年生まで	中学校3年生まで
達成状況等	(事業費比較)	3カ年 実績額/計画額		
	(数値目標等比較)	最終年度 計画⇒実績		
	事業費については、助成対象者の増加等により、毎年度計画額を超える実績となった。数値目標等は、計画初年度の制度改正により、助成対象を中学校3年生まで拡大し目標を達成した。さらに平成24年12月には、中学校3年生まで現物給付を拡大し、保護者の利便性の向上を図ったことから、事業計画を十分達成したと評価した。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 地域福祉
〔中分類〕 支え合い社会への意識変格

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	8. 地域福祉計画推進事業（福祉部 地域福祉支援課）			
事業計画概要	地域における「支え合い」の社会を構築するため、平成25年からの第3期市川市地域福祉計画を策定するとともに、地区推進会議を推進します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・市民意向調査アンケート ・地区推進会議の推進	24年度 ・第3期市川市地域福祉計画策定 ・地区推進会議の推進	25年度 ・第3期市川市地域福祉計画推進 ・地区推進会議の推進
	実績	・市民意向調査アンケート ・地区推進会議の推進	・第3期市川市地域福祉計画策定 ・地区推進会議の推進	・第3期市川市地域福祉計画推進 ・地区推進会議の推進
事業費（千円）	計画	2,443	4,340	340
	実績	1,923	1,006	252
数値目標等	計画	第3期市川市地域福祉計画の策定		
	実績	アンケート実施	計画策定	計画推進
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	3,181千円/7,123千円=44.7%		
	(数値目標等比較) 最終年度 計画→実績	計画推進⇒計画推進 100点		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>16% 58.7% 33.8% 5.9%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 地域福祉

〔中分類〕 地域への参加と交流の体制づくり

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	9. 社会福祉事業（福祉部 地域福祉支援課）			
事業計画概要	地域住民同士が相互に支えあい、助け合う身近な支援体制づくりのため、社会福祉関連団体が行う地域福祉推進事業に対して、補助金を交付します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 社会福祉協議会による ・ボランティア養成講座 ・福祉サービス利用援助事業 ・ボランティアセンターの運営及び各種事業の実施	24年度 同左	25年度 同左
	実績	社会福祉協議会による ・ボランティア養成講座 ・福祉サービス利用援助事業 ・ボランティアセンターの運営及び各種事業の実施	同左	同左
事業費（千円）	計画	57,839	57,839	57,839
	実績	57,572	58,430	58,550
数値目標等	計画	ボランティアセンターのボランティア登録数（個人）（年間）		
		490人	520人	550人
	実績	512人	448人	550人
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	174,552千円／173,517千円＝100.6%		
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画	1,510人／1,560人×100＝97点		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□ 期待以上 □ 期待通り ■ 足りない ■ やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 地域福祉
〔中分類〕 地域の安心と信頼の向上

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	10. 地域ケアシステム推進事業（福祉部 地域福祉支援課）			
事業計画概要	地域の安心と信頼の向上のため、市内14の地区社会福祉協議会が中心に取り組んでいる「地域ケアシステム」における相談事業及びサロン事業に対して、補助金を交付します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 地区社会福祉協議会による ・相談事業 ・サロンの開催	24年度 同左	25年度 同左
	実績	地区社会福祉協議会による ・相談事業 ・サロンの開催	同左	同左
事業費（千円）	計画	12,168	13,385	14,844
	実績	11,296	12,831	13,437
数値目標等	計画	誰でも気軽に参加することのできる集まり（サロン）の数（年度末）		
		77箇所	90箇所	100箇所
	実績	84箇所	96箇所	100箇所
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	37,564千円／40,397千円=93.0%		
	（数値目標等比較） 増設サロン数 実績／計画	27箇所／27箇所×100=100点		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>2.8% 59.3% 31.7% 6.2%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 障害者福祉
〔中分類〕 社会参加の促進

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	11. 障害者雇用事業（総務部 人事課／教育総務部 教育政策課）			
事業計画概要	障害者の就労を支援するため、障害者が一定期間、市の職員として勤務することができる「チャレンジドオフィスいちかわ」を実施します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・市役所本庁舎 事務補助・作業補助 (4名) ・須和田の丘支援学校 学習補助・施設管理補 助(1名)	24年度 同左	25年度 同左
	実績	5人	5人	5人
事業費(千円)	計画	10,623	10,623	10,623
	実績	8,906	8,762	10,491
数値目標等	計画	「チャレンジドオフィスいちかわ」採用人数(年間)		
		5人	5人	5人
達成状況等	実績	5人	5人	5人
	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	28,159千円/31,869千円=88.4%		
市民意向調査結果	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	15人/15人×100=100点		
		[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]		
	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 障害者福祉
〔中分類〕 生活支援の充実

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	12. 地域生活支援事業 (福祉部 障害者支援課)		
事業計画概要		障害者のコミュニケーションの支援及び移動サービスの充実を図るため、地域の特性や利用者の状況に柔軟に応じる「地域生活支援事業」を実施します。		
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・相談支援事業 ・日常生活用具給付等事業 ・地域活動支援センター事業	24年度 ・コミュニケーション事業 ・移動支援事業	25年度 等
	実績	・相談支援事業 ・日常生活用具給付等事業 ・地域活動支援センター事業	・コミュニケーション事業 ・移動支援事業	等
事業費(千円)	計画	419,567	518,458	640,659
	実績	407,934	403,737	428,253
数値目標等	計画	視覚障害者及び知的障害者ガイドヘルパー登録者数(年間)		
	実績	20人	20人	20人
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	1,239,924千円/1,578,684千円=78.5%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	20人/60人×100=33点		
<p>視覚障害者及び知的障害者のガイドヘルパーの研修及び登録については、実施計画策定当初は、視覚障害と知的障害の両方を合計して年間20人の登録を目標とした。</p> <p>しかし、知的障害者ガイドヘルパーについては、民間事業者が自ら研修を実施するようになったことから民間主体による業務として位置付け本市による研修実施は行わないこととした。(なお、民間事業者による研修後に登録したヘルパーは3名であった。)また、視覚障害者ガイドヘルパーについても、広報への掲載、事業者への連絡等により受講者募集の周知に努めたものの新規受講者が少数となったことから、当初の目標よりも登録者が少数となった。</p> <p>[□十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった ■不十分だった]</p>				
市民意向調査結果	<p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 障害者福祉

〔中分類〕 医療・リハビリテーションの支援

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	13. 身体障害者地域リハビリテーション体制整備事業 (福祉部 障害者支援課)			
事業計画概要	リハビリテーション機能の充実を図るため、理学療法士・作業療法士が、拠点のほか施設への巡回や戸別訪問により、肢体不自由の方を対象に訓練・指導を行います。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・拠点訓練の実施 ・施設巡回の実施	24年度 ・拠点訓練の実施 ・施設巡回の実施 ・戸別訪問の実施	25年度 同左
	実績	・拠点訓練の実施 ・施設巡回の実施	同左	同左
事業費(千円)	計画	5,770	6,611	7,440
	実績	3,828	2,462	3,860
数値目標等	計画	リハビリを受ける人数(年間)		
		60人	80人	105人
達成状況等	実績	57人	62人	105人
	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	10,150千円/19,821千円=51.2%		
達成状況等	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	224人/245人×100=91点		
	<p>障害者団体への説明会や介護事業者への連絡などの啓発活動を行い、24年度は62名にリハビリを行った。但し、通所施設などに在籍している方でリハビリが必要な潜在的ニーズはまだあると考えられ、研修会などを通じて本人や家族、関係者に対し、専門職員によるリハビリの実施とともに、日常生活の中で家族や地域の施設職員が軽易な動作訓練を行う「地域リハビリテーション」の考え方について普及啓発を進めていく。</p> <p>[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]</p>			
市民意向調査結果	<p>2.4% 55.4% 40.1% 2.1%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 障害者福祉
〔中分類〕 地域の理解・支援の促進

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	14. 障害者地域生活支援センター等管理運営事業 (福祉部 障害者支援課)			
事業計画概要	障害者への理解を促進するため、相談支援事業などを行う障害者地域生活支援センターを運営するとともに、講演会・研修会などを実施します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・相談支援事業 ・ピアカウンセラー ・講演会・研修会の実施	24年度 同左	25年度 同左
	実績	・相談支援事業 ・ピアカウンセラー ・講演会・研修会の実施	同左	同左
事業費(千円)	計画	4,770	4,770	4,770
	実績	4,572	4,613	4,351
数値目標等	計画	講演会・研修会の参加者数(年間)		
		120人	120人	120人
	実績	221人	202人	120人
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	13,536千円/14,310千円=94.6%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	543人/360人×100=151点		
	数値目標等に掲げた事業は、重症心身障害児者の食事、排泄などの介助方法の講義及び重症心身障害児者に対する地域への理解の促進をサポートすることを目的とした講演会・研修会等の参加者数である。平成24年度は重症心身障害児者に対する市川の現状を踏まえつつ、全国の取り組みを紹介するシンポジウムに障害関係者だけではなく、一般市民や訪問看護ステーション職員を含めて109名が参加。「肩関節の構造と運動」の講義及び実技指導の研修を3回開催し、実人数で93名参加。研修会では、これまで参加していなかった新たな居宅介護事業所職員等の参加があり、重症心身障害児者に対する理解促進を図ることができた。			
	[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 高齢者福祉
〔中分類〕 介護予防と生きがいつくりの充実

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)		15. 介護保険特別会計 (福祉部 高齢者支援課、地域福祉支援課、介護保険課)		
事業計画概要		介護保険の健全な運営を確保するため、一般会計から介護保険特別会計へ資金を支出します。介護保険特別会計では、介護サービス等の充実を図るとともに介護保険財政の円滑な運営に努め、介護予防事業及び包括的支援事業を推進します。		
年度ごとの 事業内容	計画	23年度 (特別会計での主な事業) ・一次予防事業(いきいき健康教室) ・二次予防事業(通所型介護予防事業・訪問型介護予防事業)	24年度	25年度
	実績	・一次予防事業 実開催数：82教室 延教室数：2,193教室 ・二次予防事業 通所型介護予防事業 市内7会場 延321回 訪問型介護予防事業 延209回	・一次予防事業 実開催数：100教室 延教室数：2,640教室 ・二次予防事業 通所型介護予防事業 市内7会場 延334回 訪問型介護予防事業 延248回	・一次予防事業 (いきいき健康教室) ・二次予防事業 (通所型介護予防事業・訪問型介護予防事業)
事業費(千円)	計画	2,812,901 (特別会計への繰出金額)	2,985,530 (特別会計への繰出金額)	3,138,487 (特別会計への繰出金額)
	実績	2,808,320	3,001,343	3,159,256
数値目標等	計画	各種事業に参加した人数(年間・延べ)		
	実績	72,000人	75,000人	78,000人
達成状況程度	(事業費比較) 3ヵ年 実績額/計画額	8,968,919千円/8,936,918千円=100.4%		
	(数値目標等比較) 3ヵ年 実績/計画	219,326人/225,000人×100=97点		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査 結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 高齢者福祉
〔中分類〕 介護サービス及び生活支援サービスの充実

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	16. 特別養護老人ホーム施設整備建設補助事業 (福祉部 高齢者支援課)			
事業計画概要	介護サービス等の充実を図るため、社会福祉法人の特別養護老人ホーム等の建設に対し、補助金を交付します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・定員50人及びショートステイ併設型の特別養護老人ホームの整備 ・定員100人の特別養護老人ホームの整備	24年度	25年度 ・定員100人の特別養護老人ホーム1カ所の整備
	実績		特別養護老人ホームの整備 ・レガール市川 定員50人、ショートステイ定員30人 ・いちかわ翔裕園 定員100人	・定員100人の特別養護老人ホーム1カ所の整備
事業費(千円)	計画	304,000	0	154,000
	実績	0	304,000	154,000
数値目標等	計画	特別養護老人ホームの定員数(年度末・累計)		
	実績	652人	802人	902人
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	458,000千円/458,000千円=100%		
	(数値目標等比較) 増分した定員 実績/計画	250人/250人×100=100点		
	23年度整備分については、震災等の影響による資材の入手難、労務者の不足等により、当初の整備計画工程に遅れが生じ、年度内での工事完了が困難な状況となり、24年度に開設したもの。 25年度整備分については、県からの内示の遅れや震災復興における資材の入手難など、当初の整備計画工程に遅れが生じている。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果				

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額+補正見込み額

〔大分類〕 社会保障・住まい

〔中分類〕 安心して暮らせる社会保障の充実

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	17. 国民健康保険特別会計（保健スポーツ部 国民健康保険課）			
事業計画概要	国民健康保険の健全な運営を確保するため、一般会計から国民健康保険特別会計へ資金を支出します。国民健康保険特別会計では、生活習慣病を予防するため、40歳以上の国民健康保険加入者を対象として特定健康診査及び特定保健指導を実施します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 (特別会計での主な事業) ・特定健康診査の実施 ・特定保健指導の実施	24年度 同左	25年度 同左
	実績	・特定健康診査 35,266人 ・特定保健指導 444人	・特定健康診査 35,688人 ・特定保健指導 1,035人	・特定健康診査 36,300人 ・特定保健指導 1,080人
事業費(千円)	計画	4,400,000 (特別会計への繰出金額)	4,852,655 (特別会計への繰出金額)	5,012,454 (特別会計への繰出金額)
	実績	4,150,000	4,000,000	5,070,000
数値目標等	計画	特定健康診査の受診率(年間)		
	実績	62%	65%	67%
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	13,220,000千円/14,265,109千円=92.7%		
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	44.6ポイント/67ポイント×100=67点		
<p>平成24年9月に当該事業に係る国の指針が改正され、平成29年度までに達成する目標値が60%に変更されたことから、本市では、この目標値を段階的に達成すべく、平成25年度の目標値を48%に変更した。</p> <p>実績は1.0%増となっているが、計画は達成していないので更なる努力が必要と思われる。</p> <p>特定保健指導については、平成24年度から電話での勧奨を行ったことで、実施数が増えた。</p> <p>[□十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった ■不十分だった]</p>				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ▨足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 社会保障・住まい
〔中分類〕 住まいの安心・安全への支援

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	18. 市営住宅営繕事業（福祉部 市営住宅課）			
事業計画概要	入居者の安全性、居住性の向上に努め、市営住宅の維持管理を図るため、「市川市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、老朽化した施設の大規模修繕等を計画的に行います。			
年度ごとの 事業内容	計画	23 年度 ・東菅野団地外壁改修工事 ・稲荷木団地外壁改修工事 ・曾谷第一団地外壁改修工事及び屋上防水工事 ・曾谷第二団地外壁改修工事	24 年度 ・柏井第一団地 1～3号棟外壁改修工事及び屋上防水工事 ・塩浜団地 1・2号棟階段手摺設置	25 年度 ・大町第一団地A棟 ・大町第二団地 4号棟エレベーター設置工事 ・大町第二団地 5号棟外壁改修工事 ・大町第二団地 6号棟屋上防水工事 ・塩浜団地 3・4(4-1 及び 4-2)号棟階段手摺設置
	実績	・曾谷第一団地外壁改修工事及び屋上防水工事 ・東菅野団地外壁改修工事 ・稲荷木団地外壁改修工事	・北方第二団地 A・B・C棟屋上防水工事 ・曾谷第二団地外壁改修工事	・大町第二団地 1・2・3号棟外壁改修工事 ・大町第三団地 B棟外壁改修工事及び屋上防水工事 ・相之川第二団地 A棟外壁改修工事及び屋上防水工事
事業費（千円）	計画	86,194	164,000	211,000
	実績	44,604	37,028	244,000
数値目標等	計画	市川市公営住宅等長寿命化計画における進捗率（年度末）		
	実績	5.1%（4件/78件）	11.5%（9件/78件）	20.5%（16件/78件）
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	325,632 千円／461,194 千円＝70.6%		
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画	15.4%／20.5%×100＝75点		
達成状況等	24年度計画において現況・現地調査により実施事業の変更を行った。また22年度に策定した市川市公営住宅等長寿命化計画について23年度実績及び24年度を踏まえ優先すべき事業を整理し、計画の変更を行い、これに従い事業を実施したため、当初の年次計画と実績に差異が生じた。 [□十分達成した □概ね達成した ■やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 スポーツ
 〔中分類〕 スポーツ環境の充実

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	19. スポーツ施設整備・改修事業（保健スポーツ部 スポーツ課）			
事業計画概要	スポーツを行う場づくりを推進するため、老朽化が進む既存スポーツ施設の再整備を進めるとともに、新たなスポーツ施設の整備を行います。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・塩浜市民体育館テニスコート改修工事 ・国府台野球場防球ネット設置工事 ・信篤体育館トレーニング室機能整備 ・国府台陸上競技場公認更新に伴う整備 等	24年度 ・国府台野球場電光掲示板整備	25年度 ・国府台野球場夜間照明設備設置
	実績	・塩浜体育館テニスコート改修 ・国府台球場3塁側防球ネット設置 ・国府台陸上競技場公認更新改修 等	・国府台球場スコアボード改修 ・国府台球場1塁側防球ネット設置	
事業費(千円)	計画	99,775	64,000	300,000
	実績	109,764	101,745	
数値目標等	計画	スポーツ施設の利用者数(年間・延べ)		
	実績	552,000人	552,000人	552,000人
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	211,509千円/463,775千円=45.6%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	1,786,619人/1,656,000人×100=108点		
H22年度に老朽化のため撤去した野球場夜間照明設備は、H25年度に新設を予定していたが、計画を見直して延期することとした。 なお、各施設の整備を進めたことにより、利用者数については計画を達成することができた。 【 <input checked="" type="checkbox"/> 十分達成した <input type="checkbox"/> 概ね達成した <input type="checkbox"/> やや不十分だった <input type="checkbox"/> 不十分だった】				
市民意向調査結果	<p>期待以上 期待通り 足りない やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 子どもの教育
〔中分類〕 子どもの育成（子どもの姿）

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	20. 学校版環境 I S O 認定事業（学校教育部 指導課）			
事業計画概要	社会的な問題に関する認識を深め、意欲と実践力を育むため、各学校で特色ある環境保全活動や省エネ・リサイクル活動に取り組み、児童・生徒、教職員、並びに保護者・地域の方々の環境意識の高揚と環境保全活動の実践力の向上を図ります。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・環境学習 ・環境美化活動 ・リサイクル活動 ・保護者・地域への啓発活動等の支援	24年度 同左	25年度 同左
	実績	・環境学習 ・環境美化活動 ・リサイクル活動 ・保護者・地域への啓発活動等の支援	同左	同左
事業費（千円）	計画	895	895	895
	実績	885	849	330
数値目標等	計画	活動を評価し、I S O 認定校として認定した学校数（年度末・累計） ※平成25年度全校認定完了		
	実績	新規5校 継続5校 （合計45校）	新規5校 継続5校 （合計50校）	継続5校 （全55校認定完了）
達成状況等	（事業費比較） 3ヵ年 実績額／計画額	2,064千円／2,685千円=76.9%		
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画	56校／55校×100=102点		
市民意向調査結果	[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 子どもの教育

〔中分類〕 子どもの育成（子どもの姿）

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	21. 学校給食費負担軽減事業（学校教育部 保健体育課）			
事業計画概要	児童生徒の健やかな体を育成するためには、各家庭での食事に加え、学校給食も大きな役割を担っていることから、学校給食の現物給付を行うことで、給食費の値上げを抑えるとともに、安全で質の高い給食を提供します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 学校給食食材の現物給付（米、パン、油等）	24年度 同左	25年度 同左
	実績	米、パン、油の現物給付を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図った。	米、牛乳の現物給付に加え、義務教育期間中の3人目以降の児童生徒の給食費を無料とし、子育て家庭及び多子世帯の経済的負担の軽減を図った。	
事業費（千円）	計画	120,000	120,000	120,000
	実績	119,929	158,207	160,000
数値目標等	計画	給食費 保護者負担額（一食あたり） 小学校・特別支援学校(小学部) 253円 中学校・特別支援学校(中学部) 300円		
	実績	小学校・特別支援学校(小学部) 253円 中学校・特別支援学校(中学部) 300円	小学校・特別支援学校(小学部) 253円 中学校・特別支援学校(中学部) 300円 義務教育期間中の3人目以降の児童生徒の給食費を無料化	同左
達成状況等	(事業費比較)	3カ年 実績額/計画額 438,136千円/360,000千円=121.7%		
	(数値目標等比較)	3年間 計画⇒実績 小学部 253円 ⇒ 253円 中学部 300円 ⇒ 300円 100点		
	これまでの現物給付に加え、義務教育期間中の3人目以降の児童生徒の給食費を無料としたことにより事業費が増となった。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 子どもの教育

〔中分類〕 家庭・学校・地域の連携（家庭・学校・地域の姿）

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	22. コミュニティクラブ事業（生涯学習部 青少年育成課）			
事業計画概要	人とのつながりを大切にし、子どもの成長を支える地域の教育力の向上を図るため、16 中学校区に設置された「コミュニティクラブ」において、「遊び」を通じた異年齢交流・世代間交流を図る事業を実施します。			
年度ごとの事業内容	計画	23 年度	24 年度	25 年度
	実績	活動回数総計 758 回 参加人数総計 39,563 人 (内訳) こども 24,025 人 大人 8,311 人 ボランティア 7,227 人	活動回数総計 874 回 参加人数総計 40,488 人 (内訳) こども 25,759 人 大人 8,417 人 ボランティア 6,312 人	活動回数総計 800 回 参加人数総計 40,000 人
事業費(千円)	計画	8,783	8,593	8,593
	実績	7,691	7,818	7,354
数値目標等	計画	コミュニティクラブ参加人数(年間・延べ)		
	実績	40,000 人	40,000 人	40,000 人
達成状況等	(事業費比較)	3カ年 実績額/計画額 22,863 千円/25,969 千円=88.0%		
	(数値目標等比較)	3カ年 実績/計画 120,051 人/120,000 人×100=100 点		
市民意向調査結果	[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 子どもの教育

〔中分類〕 教育環境の整備・充実（市川の教育の姿）

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	23. 小学校・中学校耐震改修事業（教育総務部 教育施設課）			
事業計画概要	学校施設は、児童・生徒が一日の大半を過ごす学習の場であるとともに、生活の場でもあります。また、災害の際、学校は一時避難場所や災害対策拠点となります。安全・安心で充実した教育環境を実現するとともに、災害時の拠点機能を充実させるため、学校施設の耐震改修を進めます。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・小学校校舎(3校4棟) ・中学校校舎(3校6棟)	24年度 ・小学校校舎(10校11棟) ・中学校校舎(5校5棟)	25年度 ・小学校校舎(17校22棟) ・中学校校舎(4校4棟)
	実績	・小学校校舎(5校6棟) ・中学校校舎(4校7棟)	・小学校校舎(10校11棟) ・中学校校舎(5校5棟)	・小学校校舎(17校22棟) ・中学校校舎(4校4棟)
事業費(千円)	計画	1,616,583	1,956,300	1,755,605
	実績	1,437,633	1,804,029	1,848,108
数値目標等	計画	小学校・中学校耐震改修進捗率(棟数ベース)(年度末)		
		65.6%	78.7%	100%
	実績	63.2%	77.2%	100%
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	5,089,770千円/5,328,488千円=95.5%		
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	100ポイント/100ポイント×100=100点		
	[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額+繰越額

〔大分類〕 子どもの教育
 〔中分類〕 教育環境の整備・充実（市川の教育の姿）

基本目標1
 基本目標2
 基本目標3
 基本目標4
 基本目標5

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	24. 少人数学習等担当補助教員事業（学校教育部 義務教育課）		
事業計画概要		児童・生徒一人ひとりに応じた教育的支援を推進するため、小・中学校に補助教員を派遣し、少人数指導やティームティーチングを実施することで、分りやすい授業やきめ細かな指導の充実を図ります。		
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・全小中学校に各1名の55名 ・37人規模の学級のある大規模校のうち5校へ各1名の5名	24年度 同左	25年度 同左
	実績	・全小中学校に各1名の55名 ・37人規模の学級のある大規模校のうち5校へ各1名の5名	同左	・全小中学校に各1名の55名
事業費(千円)	計画	148,328	148,328	148,328
	実績	148,534	144,859	128,539
数値目標等	計画	補助教員派遣数(年間)		
	実績	60人	60人	60人
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	421,932千円/444,984千円=94.8%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	175人/180人×100=97点		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 子どもの教育

〔中分類〕 教育環境の整備・充実（市川の教育の姿）

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	25. 私立幼稚園等補助金（教育総務部 就学支援課）		
事業計画概要	幼児期からの充実した教育環境を整えるため、私立幼稚園、私立幼稚園類似施設に在園する園児の保護者、私立幼稚園の設置者及び私立幼稚園協会に対して補助金を交付します。これにより、私立幼稚園保育料の格差是正及び保護者負担の軽減も図ります。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・私立幼稚園園児補助金 ・幼稚園類似施設園児補助金 ・私立幼稚園等子育て支援金 ・私立幼稚園預かり保育事業費補助金	24年度 ・私立幼稚園就園奨励費補助金 ・私立幼稚園幼児教育振興費補助金 ・私立幼稚園協会補助金	25年度
	実績	・私立幼稚園園児補助金 ・私立幼稚園就園奨励費補助金 ・幼稚園類似施設園児補助金 ・私立幼稚園幼児教育振興費補助金 ・私立幼稚園等子育て支援金 ・私立幼稚園協会補助金 ・私立幼稚園預かり保育事業費補助金	・私立幼稚園就園奨励費補助金 (24年度より私立幼稚園園児補助金と一本化) ・幼稚園類似施設園児補助金 ・私立幼稚園幼児教育振興費補助金 ・私立幼稚園等子育て支援金 ・私立幼稚園協会補助金 ・私立幼稚園預かり保育事業費補助金	同左
事業費(千円)	計画	614,069	620,000	620,000
	実績	590,016	593,975	625,615
数値目標等	計画	私立幼稚園園児補助金 補助対象者数(年間・延べ)		
	実績	5,222人	5,222人	5,222人
達成状況等	(事業費比較)	3カ年 実績額/計画額		
	(数値目標等比較)	3カ年 実績/計画		
市民意向調査結果	[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 子どもの教育
 〔中分類〕 教育環境の整備・充実（市川の教育の姿）

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	26. 放課後保育クラブ運営事業（生涯学習部 青少年育成課）		
事業計画概要		安全・安心で充実した教育環境を実現するため、保護者が共働きなどにより、昼間家庭にいない概ね10歳未満の児童に対し、放課後などに小学校の余裕教室等を活用して適切な遊び及び生活の場を提供します。 また、待機児童の解消のため、施設の整備を進めます。		
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
		放課後保育クラブの管理・運営 設置数 89箇所 入所児童数 3,110人	放課後保育クラブの管理・運営 設置数 93箇所 入所児童数 3,160人	放課後保育クラブの管理・運営 設置数 95箇所 入所児童数 3,185人
年度ごとの事業内容	実績	設置数 88箇所 定員 3,600人 入所児童数 3,110人	設置数 88箇所 定員 3,700人 入所児童数 3,099人	設置数 90箇所 定員 3,762人 入所児童数 3,243人
		事業費(千円)	計画	920,559
事業費(千円)	実績	865,592	963,580	989,825
	数値目標等	計画	放課後保育クラブ定員数(年度末)	
実績		3,600人	3,640人	3,680人
達成状況等	(事業費比較)	3ヵ年 実績額/計画額		
	(数値目標等比較)	最終年度 実績/計画		
目標数値については、施設の入所可能人数を鑑み設定したが、設定人数より、入所申請者が少なかった。 現在、待機者はいないが、今後についても待機者が出ないよう事業を展開していく。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]		$2,818,997 \text{ 千円} / 2,956,559 \text{ 千円} = 95.3\%$ $3,762 \text{ 人} / 3,680 \text{ 人} \times 100 = 102 \text{ 点}$		
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

基本目標1
 基本目標2
 基本目標3
 基本目標4
 基本目標5

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 生涯学習

〔中分類〕 生涯を通して学び続けられる学習環境の実現

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	27. 公民館主催講座活動事業（生涯学習部 社会教育課）			
事業計画概要	公民館を活用した地域の学習拠点づくりのため、市民の実際の生活に即した健康・子育て支援・環境問題・国際化等の現代的課題や生活課題を意識した事業を充実させ、公民館利用の拡大を図り、学んだ成果の活用としてサークルの育成や住民の仲間づくり、地域活動への参加を促します。			
年度ごとの事業内容		23年度	24年度	25年度
	計画	公民館主催講座の開催講座数 280 講座	同左	同左
	実績	公民館主催講座の開催講座数 294 講座	公民館主催講座の開催講座数 297 講座	公民館主催講座の開催講座数 280 講座
事業費（千円）	計画	12,871	12,871	12,871
	実績	11,756	12,535	11,325
数値目標等	計画	公民館主催講座数（年間）		
		280 講座	280 講座	280 講座
	実績	294 講座	297 講座	280 講座
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額		35,616 千円／38,613 千円＝92.2%	
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画		871 講座／840 講座×100＝104 点	
	事業費比較は 92.2%、また数値目標等では、840 講座の計画に対し 871 講座を実施し目標を 31 講座上まわった。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成 23 年度及び平成 24 年度は決算額、平成 25 年度は当初予算額

〔大分類〕 生涯学習
 〔中分類〕 生涯を通して学び続けられる学習環境の実現

基本目標1
 基本目標2
 基本目標3
 基本目標4
 基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	28. 蔵書管理効率化事業（生涯学習部 中央図書館）			
事業計画概要	図書館の活用を通じた学習活動を推進するため、ICタグによる蔵書管理、集密書架導入による収容管理、資料の電子化を順次進めます。事業開始当初は、ICタグによる蔵書管理を進めて、貸出返却作業の省力化及び効率的、かつ、適正な図書館資料管理を実現します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
	実績		<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館開架部分の資料にICタグを貼付 集密書架導入 	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館書庫部分の資料にICタグを貼付 中央図書館にICリーダーライタ、ゲート、自動貸出機等導入 集密書架導入
事業費（千円）	計画		89,187	95,688
	実績	0	0	10,000
数値目標等	計画	ICタグ蔵書数（年度末）		
	実績	70,000冊（駅南）	511,000冊	872,000冊
達成状況等	計画	71,125冊（駅南）		
	実績	77,172冊（駅南）		
達成状況等	（事業費比較）	3カ年 実績額／計画額		
	（数値目標等比較）	最終年度 実績／計画		
達成状況等	・ICタグによる蔵書管理については、平成21年に開館した市川駅南口図書館のみにとどまり、中央図書館をはじめとした既存図書館への推進はできなかった。 ・平成25年度には、集密書架の予定面積5%導入により約25,000冊の収容冊数の増加が見込める予定である。			
	[□十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった ■不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 雇用・労働

〔中分類〕 就労の支援

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	29. 若年者等就労支援事業（経済部 雇用労政課）			
事業計画概要	就労機会の拡充を図るため、就職活動で悩んでいる方に対して、個別相談（面接・電話）や適性診断、面接や履歴書の指導などを行う「ジョブ・サポートいちかわ」を運営します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 専門相談員による個別相談（火・木） 平成23年7月からは、毎週火・水・木・金に変更	24年度 専門相談員による個別相談（火・水・木・金）	25年度 同左
	実績	専門相談員による個別相談（火・木） 平成23年7月からは、毎週火・水・木・金に変更	専門相談員による個別相談（火・水・木・金） 就職面接会の開催	同左
事業費（千円）	計画	1,537	1,626	1,626
	実績	1,123	1,622	1,909
数値目標等	計画	「ジョブ・サポート・いちかわ」利用者数（うち就職者数）（年間・延べ） 150人（10人）		
	実績	85人（2人）	98人（7人）	150人（10人）
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	4,654千円／4,789千円＝97.2%		
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画	333人／450人×100＝74点		
〔□十分達成した □概ね達成した ■やや不十分だった □不十分だった〕				
市民意向調査結果	<p>1.4% 39.9% 52.8% 5.8%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 雇用・労働
〔中分類〕 労働環境の向上

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	30. 勤労者労働相談事業（経済部 雇用労政課）			
事業計画概要	勤労者福祉の増進を図るため、賃金、労災、労働時間、解雇等の労働条件に関する相談及び労働保険等の手続きなどの相談に社会保険労務士が応じ、中小企業経営者、勤労者双方の抱える問題を解決します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 賃金、労災、労働時間、解雇等に関する相談 相談日時 毎週水曜日 18時～20時	24年度 同左	25年度 同左
	実績	賃金、労災、労働時間、解雇等に関する相談 相談日時 毎週水曜日 18時～20時	同左	相談日時 毎月第1・3水曜日（ただし、8・2月は除く）
事業費（千円）	計画	349	349	349
	実績	348	356	157
数値目標等	計画	労働相談受付件数（年間・延べ）		
	実績	89件	90件	90件
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	861千円／1,047千円＝82.2%		
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画	361件／269件×100＝134点		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>2.2% 44.8% 49.5% 3.5%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 消費生活
 〔中分類〕 消費者被害の救済

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	31. 消費生活センター相談及び啓発事業（市民部 総合市民相談課）			
事業計画概要	消費者被害の相談体制の充実を図るため、消費生活専門相談員による相談を実施するとともに、国の「多重債務問題改善プログラム」に基づき、弁護士による相談を実施します。また、消費者被害を未然に防止するための啓発事業を充実させ、消費者意識の向上を図ります。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・消費生活相談 ・多重債務相談 ・消費者講座 ・情報提供	24年度 同左	25年度 同左
	実績	消費生活相談 2,958件 多重債務相談件数 103件 消費生活講座 7回 210人 出前消費者講座 23回 786人 クオリティライフいちかわの発行他	消費生活相談 2,878件 多重債務相談件数 72件 消費生活講座 9回 225人 出前消費者講座 22回 828人 クオリティライフいちかわの発行他	消費生活相談 2,800件 多重債務相談件数 70件 消費生活講座 7回 出前消費者講座 20回 クオリティライフいちかわの発行他
事業費(千円)	計画	17,488	17,870	17,870
	実績	16,836	17,554	14,676
数値目標等	計画	消費生活に関する相談件数（年間・延べ） ※実施計画期間では相談体制の充実を図りますが、消費者被害を未然に防止することで、相談件数が減少すると見込みます。		
		3,000件	2,900件	2,800件
	実績	2,958件	2,878件	2,800件
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	49,066千円/53,228千円=92.2%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	8,636件/8,700件×100=99点 ⇒数値が下回ることを目指している為、 100-99=1点を加点し、101点とする。		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>2.1% 69.1% 23.0% 5.8%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 人権・男女共同参画

〔中分類〕 人権尊重社会の実現

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	32. 市川市DV対策事業（総務部 男女共同参画課）			
事業計画概要	相談・救済・支援体制の充実を図るため、仮称「市川市DV防止基本計画」を策定するとともに、配偶者暴力相談支援センターを設置します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・仮称「市川市DV防止基本計画」策定 ・女性相談員（婦人相談員）の配置 ・配偶者暴力相談支援センターの設置	24年度 ・基本計画の進捗状況の確認及び評価 ・女性相談員（婦人相談員）の配置 ・配偶者暴力相談支援センター機能の強化	25年度 同左
	実績	・市川市DV防止基本計画策定（23年8月） ・相談員を全て女性相談員とした。 ・配偶者暴力相談支援センターを設置した。（23年10月）	・基本計画の年次報告実施 ・急増するDV相談に対応するため女性相談員の適正配置を図った。	女性相談員によるDV被害者支援、各種証明書の発行等、ケースに応じ問題解決に向けて継続的に対応し、相談事業の充実、強化を図る。
事業費（千円）	計画	10,324	10,231	10,231
	実績	10,351	9,729	10,860
数値目標等	計画	女性相談員数（婦人相談員数）（年間）		
		5人	7人	7人
	実績	7人	6人	7人
達成状況等	（事業費比較） 3ヵ年 実績額／計画額	30,940千円／30,786千円＝100.5%		
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画	7人／7人×100＝100点		
配偶者暴力支援センターを平成23年10月に設置し、相談件数が急増していることから相談員の適正配置と相談体制の充実を図る必要が生じている。				
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 人権・男女共同参画
 〔中分類〕 男女共同参画社会の実現

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	33. 男女共同参画センター講座事業 (総務部 男女共同参画課)			
事業計画概要	男女共同参画の意識づくりと教育の推進のため、市民に対し男女共同参画に関する正しい知識や理解を深める講座や講演会等を実施します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・女性学を学ぶ講座 ・父子での料理講座 ・男性の家事参加促進講座 ・DVに関する講座	24年度 同左	25年度 同左
	実績	主催講座実施回数 9回 (延べ28回実施)	主催講座実施回数 9回 (延べ27回実施)	主催講座実施回数 10回 (延べ26回実施)
事業費(千円)	計画	990	990	990
	実績	998	1,052	750
数値目標等	計画	講座参加者数(年間・延べ)		
	実績	500人	500人	550人
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	2,800千円/2,970千円=94.3%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	2,351人/1,550人×100=152点		
市民意向調査結果	[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 平和
〔中分類〕 平和意識の高揚

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	34. 平和啓発事業（総務部 総務課）			
事業計画概要	平和啓発活動を推進するため、「核兵器廃絶平和都市宣言」の主旨の啓発と意識の高揚を図り、各種平和啓発事業を実施します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・平和の折鶴募集 ・平和の折鶴展 ・原爆投下日、終戦記念日における街頭啓発 ・平和寄席 ・平和ポスター展 ・平和カレンダーの作成 ・平和映画会	24年度 同左	25年度 同左
	実績	・平和の折鶴募集 ・平和の折鶴展 ・原爆投下日、終戦記念日における街頭啓発 ・平和寄席 ・平和ポスター展 ・平和カレンダーの作成 ・平和映画会	・平和の折鶴展 ・原爆投下日、終戦記念日における街頭啓発 ・平和寄席 ・平和ポスター展 ・平和カレンダーの作成 ・平和映画会 ・学校での被爆体験講話	同左
事業費（千円）	計画	2,182	2,182	2,182
	実績	2,181	2,189	2,149
数値目標等	計画	平和事業への参加者数（年間・延べ） 2,000人		
	実績	2,448人	4,648人	3,000人
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	6,519千円／6,546千円＝99.6%		
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画	10,096人／6,000人×100＝168点		
平成24年度からの新規事業として、学校における被爆体験講話の語り部派遣の仲介等を行った。これにより、数値目標である平和事業への参加人数が増加した。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 平和
 〔中分類〕 国際平和のための活動の促進と支援

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	35. 姉妹都市等交流事業（文化国際部 国際交流課）			
事業計画概要	国際交流活動の促進を図り、相互理解を深めるため、アメリカ合衆国ガーデンナ市、中華人民共和国樂山市、インドネシア共和国メダン市、ドイツ連邦共和国ローゼンハイム市との自治体間交流、市民交流及び青少年交流を行います。			
年度ごとの事業内容	計画	23 年度 ・樂山市友好都市締結 30 周年記念事業 ・公式団を樂山市へ派遣 ・市民団を樂山市へ派遣 ・樂山市公式団を受入 ・樂山市青少年団を受入 ・ローゼンハイム市公式団を受入 ・青少年団をガーデンナ市へ派遣	24 年度 ・ガーデンナ市姉妹都市締結 50 周年記念事業 ・公式団をガーデンナ市へ派遣 ・市民団をガーデンナ市へ派遣 ・ガーデンナ市公式団を受入 ・メダン市青少年団を受入 ・青少年団を樂山市へ派遣	25 年度 ・ガーデンナ市青少年団を受入 ・青少年団をメダン市へ派遣
	実績	・樂山市友好都市締結 30 周年記念事業 ・公式団を樂山市へ派遣 ・市民団を樂山市へ派遣 ・樂山市公式団を受入 ・青少年団をガーデンナ市へ派遣 ・日独交流 150 周年記念「いちかわトイデー」	・ガーデンナ市姉妹都市締結 50 周年記念事業 ・公式団をガーデンナ市へ派遣 ・市民団をガーデンナ市へ派遣 ・ガーデンナ市公式団を受入 ・樂山市青少年団を受入 ・メダン市青少年団を受入 ・ローゼンハイム市公式団を受入 ・ローゼンハイム市民団を受入 ・いちかわトイデー	・ガーデンナ市青少年団を受入 ・青少年団をメダン市へ派遣 ・イッシー・レ・マリノー市公式団を受入 ・イッシー・レ・マリノー市民団を受入 ・いちかわトイデー
事業費（千円）	計画	15,696	16,000	2,000
	実績	3,559	10,912	6,467
数値目標等	計画	代表団の派遣・受入、市民団・青少年団の派遣・受入 実施回数（年間）		
		計 6 回	計 5 回	計 2 回
	実績	計 4 回	計 7 回	計 4 回
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	20,938 千円／33,696 千円＝62.1%		
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画	計 15 回／計 13 回×100＝115 点		
	[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成 23 年度及び平成 24 年度は決算額、平成 25 年度は当初予算